

131/21
第63/号

見込之期立及不出之生計上之於其之財源者打
撃の豫メ日ニ困難ノ末之居文折、此際其打
済、策ヲ講ジ、如何ニ他ニ何事ノ方策無之
即チ平素献身の、労働ヲ捧、ヤフク其貴社ニ起
リ之レテ請ヘルノ外他ニ途無之者、存其故、此際
未託要求ノ返リ願意御用、而相成度、頁者、
ノ款取申共矣也。

一、款額條件、
現在ノ債銀ノ従前最高當時ノ債金ニ復旧ス

有款額不

大正十五年十月二十日

右頭出人

結工、横室工、仕上工
商標工、外工、女工

日本燐寸会社 御中

文而及第一八三四番

大正十五年十月三日

兵庫縣知事 十塚 啓

通

内務大臣 若槻禮次郎 殿

社會局長 宮池田宏 殿

警視總監 大田政弘 殿

京都 大政 岡山 各府縣知事 殿

日本燐寸会社 職工嘆願書提出後

ノ状況ニ関スル件 (第五報)

同業組合ノ困難ノ會社ノ態策

昭和九年九月 皇憲燐寸会社 職工賃銀値上嘆願